___ 13課「私のおすすめ」

く行動目標>

生活を楽しく便利にするために、身近な役立つ情報やおすすめ情報をやりとりすることができる。

<3 つのスモールトピック>

ST1「経験から」

友達の経験から自分の知りたい情報を得たり、自分の経験を友達に話したり することができる。

ST2「おすすめします」 おすすめの物、場所、人について話すことができる。

ST3「教えてください」 自分が知りたい情報を得るために、質問することができる。

話してみよう

昨今、インターネットで情報を得ることが当たり前の時代となりましたが、それでも、周りの人からの情報も貴重な情報です。それぞれが知っているおすすめ情報を交換できたら、もっと生活が充実したり、楽しくなったりすると思います。13 課のテーマは「私のおすすめ」です。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。これまでご紹介したように、学習者の話を聞きながら、各テーマのタイトルからも【聞いてみよう】につなげていくこともできます。(「おすすめ」は、ここで初出の語彙となっています)『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p. 81 にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。

ここでは、右のイラストを使ったやり取りを見ていきます。

T:(黄色の囲みを指して)この人たちは何をしていますか

L1:景色を見ています。

T:そうですね。どんな景色?

L2:夜の景色?

T : そうですね。日本語で「夜景」といいますね。 (板書する)

L2:やけい…夜景を見ています。

T : そうそう! L 2 さんはどこかできれいな夜景を見ましたか。

L2:はい、見ました。あ一、私の町で、きれいな夜景を見ることができますよ。



L3:どこですか。

L2:○○○です。夜、とてもきれいです。私は国にいたとき、よく行きました。

L3:誰と?

L1:恋人! (笑)

L2:友達と見に行きました。あ一、旅行の人、よくここで夜景を見ます。

T: へえ、そうですか。

L2:先生が○○へ行ったとき、あの夜景を見てください。

T:あ、ありがとうございます。ぜひ見たいです。

L1:あの、先生、東京で夜景はどこで見ることができますか。

T:そうですねえ、お台場の夜景はきれいですよ。

L1:おだいば?

T:えーっと、品川から電車に乗って行きます。

L4:ああ、私は行きました!海が見えます。

T : そうそう。さっき、L 2 さんは□□の○○○の夜景はきれいです、言いました。 これは日本語で「おすすめ」です。 L 1 さんは東京で夜景を見たいです。 お台場の夜景がいいですよ。これは私の「おすすめ」です。

L2:好きなもの?

T : そうですね。私が好きなもの、いいなと思うものを紹介します、おすすめです。 皆さんもいろいろな「おすすめ」がありますね。

L3:はい。

T:皆さんの「おすすめ」を紹介したり、他の人がどんな「おすすめ」があるかを聞いたりしてみましょう。今日、ワンさんは聞きたいことがあって、山口さんに聞いています…(と言いながら、CDを流す)

13課の【話してみよう】のイラストをきっかけにして、学習者の話を聞いてみてください。やり取りの中から学習者自身の話がいろいろ出てきます。【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、ある程度、学習者の興味が引き寄せられていたら、CDを聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。初級も後半になり、既習語彙が増えているので、意味はなんとなくつかめると思います。山口さんがワンさんに北海道についておすすめしていることを確認して、「みなさんのおすすめも教えてくださいね」などと話して、ST1に入ってください。

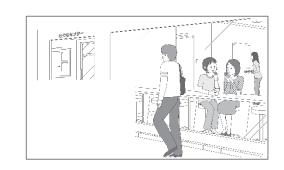
ST1 経験から

できること:友達の経験から自分が知りたい情報を得たり、自分の経験を友達 に話したりすることができる。

チャレンジ!

状況イラスト:

パクさんは交流会で知り合った日本人(木村さん) とさくらセンターのロビーで話しています。



1





コマイラスト:パクさんの両親は来月、日本へ来るので、パクさんは両親が日本へ来たとき、一緒に相撲を見に行きたいと思っています。木村さんに相撲を見た経験があるかどうか聞いてから、チケットの買い方について質問しています。

【チャレンジ】では、状況イラストから入っていって、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒に見てから、コマイラストに入っていきます。ここの【チャレンジ】のコマイラストは2枚です。学習項目は2枚目にありますが、会話の流れが大切ですから、ぜひ1枚目からチャレンジしてもらってください。2枚目のパクさんの吹き出しでは、学習者が「木村さんは相撲を見ましたか」とチャレンジすると思います。ここでは、パクさんが木村さんに相撲を見た「経験」があるかどうかを聞いていることがポイントになります。

CDを聞く前に、パクさんの吹き出しの中の人物が「木村さん」だということや「相撲を見た」ことが木村さんの経験であることを押さえてください。(「経験する」は 14 課の ST3 で提出されます)

学習項目 Vたことがあります

言ってみよう 別冊1

練習1の⑥は「1回も」が使われると、「ありません」と否定形になることに注意が必要です。キューを使った練習のあとには、学習者がどんな経験があるのかを一人ずつ、一文で言ってもらうといいです。

練習2は、やり取りの練習です。ペア練習で5つのキュー以外に、クラスメイトに聞いて みたいことを聞いてみるといいですね。

言ってみよう 本冊 1

おすすめを聞く際に、相手がその経験があるかどうかをまずは聞くことが多いと思います。 $\boxed{1}$ では相手の経験を聞くことが学習項目になっています。

A さんはしたいことがあって、B さんからおすすめや情報を聞こうとしています。そのために、まず B さんに経験があるかどうか質問してから、おすすめや情報を聞いています。おすすめや情報を B さんから引き出すための質問が \bigcirc です。

○は、これまでの課でもご紹介してきたように、キューがなく、学習者が自由に考えるところです。たとえば、①なら「ふじまるランドのチケットはいくらですか」とか「ふじまるランドでいちばんおもしろいアトラクションは何ですか」とか、②では、「富士山に登るとき、何を持って行ったほうがいいですか」とか「富士山の下からいちばん上までどのくらい歩きますか」とかいろいろな質問を事前にクラス全体で出してもらっておくと、アイデアが広がって、ペア練習がしやすくなると思います。

「ふじまるランド」は、「ディズニーランド」や「UFJ」のように地域に合った実施の遊園地でやり取りするといいですね。

チャレンジ!







コマイラスト: 相撲のチケットの買い方がわかったパクさんは、相撲観戦のあとで食事をするレストランについて、木村さんに質問しています。

【チャレンジ!】②の会話は①からの続きです。パクさんの吹き出し「相撲を見てから、 浅草へ行きたいです」の「Vてから」は 12 課 ST3 の学習項目です。ぜひ学習者が思い出し て使えるように、誘導してください。『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』 の p. 82 では、学習者が「浅草でおいしいレストランはどこですか」「浅草のレストランを教えてください」と言っている例が挙げられています。学習者がこのように言ったあとで、教師は学習者にパクさんが「浅草のレストラン」の情報があるかどうかを聞いてください。自分自身に情報がなく、相手にそれがあるかどうかを知りたいときに、どんな動詞を用いて質問しているか、がCDを聞くときのポイントになると思います。

学習項目 知っていますか 知りません

言ってみよう 別冊2

「知ります」を用いるときには、いつも「~ています」の形で用いられること、また、否定の場合には「知りません」を用いることもぜひ紹介してください。



コマイラスト:パクさんに浅草のおいしいレストランを聞かれた木村さんは、 お店を紹介しています。

CDを聞く前に、「すみだ」はお店の名前だということ、木村さんはそのレストランを知っている、パクさんは知らないということを確認してから、学習者と一緒に CD を聞いてください。知らない相手に何かを紹介するとき、どのように言っているかが聞き取れると思います。

学習項目 N というN

言ってみよう 別冊3

練習1は、キュー以外にも、学習者が知らなさそうな日本の物の写真などを用いて、教師 が紹介するということもできると思います。

ベトナムの学生がいるときは、バインセオやバインミーなどの料理の写真とか、ネパールの学生がいるときは寺院の写真とか、学生の国に合わせて、建築物、料理、お菓子、お土産品などの写真を持っていって、学生たちから発話を引き出します。自分たちが知っているものが授業中に出てきたことを喜び、学習者たちはすすんで他のクラスメイトに紹介してくれます。教室の中がとても盛り上がります。



NというNを使う場合には、相手が知らないということがポイントになるので、みんなが知っているようなこと、例えば、「東京というところ」「りんごという果物」という使い方はないことにも触れてあげると、いいと思います。

こんなふうに

この練習のときに、こんな物を紹介してみました。







言ってみよう

本冊2 3

ここでは、家族で京都旅行に行きたいと思っている \mathbf{A} さんが、京都のいろいろなおすすめについて、 \mathbf{B} さんに聞いています。

やってみよう

ST1 [やってみよう] のできることは、「友達の経験から自分が知りたい情報を得たり、自分の経験を友達に話したりすることができる」です。知りたい情報をもらうためにどんな質問をしているかに注目するようにしてください。

2の会話の中でアンナさんが「ふらの?」と繰り返しています。これはこれまでにも出てきていますが、自分が知らない言葉が出てきたときに、相手が言った言葉を繰り返すと、相手から情報を引き出せるストラテジーにも注目してください。

■ 学習者の中には、おすすめできる情報を持ち合わせていない人や、情報をもらう側としても、何を話したらいいか、どうやって質問をしたらいいか、戸惑いがあるようです。 下準備をしてからすると、よさそうです。次ページのシートは、授業時に使用したものです。

やっ	てみよう ←			
₽		何をしたいですか?↩	何を知りたいですか?↩	 答 え -
1	りょうしん 両親/友達が来ます↩ ̄―	↔ 🚞	e e	(2
2	しゅうまっ 週末、時間がありま すご ⇒	←	٠ 4	(2
3	当へ帰ります↩ ⇒	お≟産を費いたいです₽ ➡	. 4	٦
4	*□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	₽ 🚞	e e	←
₽	\Rightarrow	₽	. 4	ب

「何をしたいですか」「何を知りたいですか」のところまで自分で書き込んでおいて、あとはクラスメイトや先生(場合によっては誰かに聞いてくるのでもいいと思います)に質問してわかったことを「答え」のところに書くようになっています。

「クラスメイトに質問して、情報をもらいましょう」と言ってもどんな質問をしたらいいか 戸惑う学習者もいるので、このようなシートがあると、相手にどんな質問をしたらいいか、 質問しやすいようです。

ST2 おすすめします

できること:おすすめの物、場所、人について話すことができる。

チャレンジ!

状況イラスト:

寮で雑誌やテレビを見ながら、 友達と話しています。



1





コマイラスト:山口さんとパクさんは一緒に雑誌を見ています。山口さんはパクさんに、雑誌に紹介されていたデパートを紹介しています。

【チャレンジ】では、「サンサンは何ですか」「サンサンはデパートです」という会話から始まり、サンサンはどんなデパートかを説明するときにどう言ったらいいか、名詞の説明をどのようにしたらいいかをここで学びます。

学生にチャレンジしてもらったあとで、

サンサンは

デパートです。

のように板書し、「デパート」の前にどんなデパートかを説明する言葉が来るということを示します。そのあとで、再度、2枚目の山口さんの吹き出しを指さして、何と言ったらいいか促します。

T: サンサンはデパートですね。どんなデパートですか。(山口さんの吹き出しを指して)

L:若い人は行きます。

T: そうです! 若い人は行きますね。(板書する)

サンサンは

デパートです。

若い人は行きます

T: これを1つの文で言いたいとき、何と言いますか。聞いてください。

と言って、CD を聞きながら、板書の「若い人は」の「は」を「が」に変え、「行きます」 を「行く」に変えます。そのあとで、接続の確認をします。

修飾節の中では、「は」は「が」になることに注意をしてください。この練習は別冊 1の練習 2 でします。

学習項目 ~は [名詞修飾] です

言ってみよう 別冊1

名詞修飾の練習では、文が長くなると、どこからどこまでが名詞を修飾しているのか、 分かりにくくなる学習者もいるようです。教師が「どんな喫茶店ですか」とか「どんなお 菓子ですか」のように問いかけをしながら、練習を進めていくと、学習者が迷わずに口慣 らしの練習ができると思います。

例えば、

T:(右の写真を見せて) ここは…

L: 喫茶店です。

T:そうですね。どんな喫茶店ですか。

L:きれいな喫茶店です。

T: うん、そうですね。 (文字カードを出す)

ここは…

L:ここは友達と行く喫茶店です。

T: いいですね。はい、じゃ、これは?

L:かーる・・・何ですか。

T:これはお菓子です。

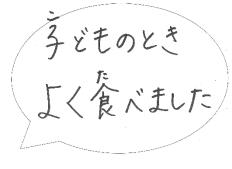
L:ああ、お菓子。チーズ味。

T: どんなお菓子ですか。 (文字カードを出す)

L:これは子どものとき、よく 食べたお菓子です。







学習者に身近な例(学習者がよく行くコンビニ、公園、そのときに流行しているドラマなど)を用いると、楽しくなります!

こんなふうに

練習のときに、どこが修飾されるのかを視覚的に捉えられるように、名詞の部分の色を変えて示してみました。

きっさ てん ここは喫茶店です + 友達とよく行きます

授業では、上のキューを出したあとで、教師が「どんな喫茶店ですか」と聞きながら、「ここは友達とよく行く喫茶店です」と言う練習をしました。また、そのときに、

⇒ここは友達とよく行く喫茶店です。

文字でも確認ができるようにしてみました。

言ってみよう 本冊1

ここでのキューは、雑誌の中で示されています。学生だけでペア練習をする前に、全体で何と言ったらいいか確認していきます。

例えば、

- T:①のお店は何ですか。
- L:キャンディです。
- T: そうですね。キャンディはどんなお店ですか。
- L:「かわいい服がたくさん」
- T:服が…たくさん??
- L:ある!
- T: そうですね。じゃ、キャンディは…
- L:キャンディはかわいい服がたくさんある店です。
- T:いいですね。他には?
- L:キャンディはかわいい服を買うことができる店です
- T: それもいいですね。お客さんは「買います」ですね、じゃお店の人は?
- L:売ります
- T:そうでうすね!じゃあ?
- L:キャンディはかわいい服をたくさん売っている店です

T: いいですね。

答えは1つではなく、いろいろな言い方ができること確認しておきます。また、「売ります」はここでの新出語彙です。別冊で出てきたものを使えるように、全体で確認しておくといいです。 マークがあります。練習が終わったら、学習者が知っているお店などを紹介してもらいましょう。

チャレンジ!

2





コマイラスト:カルロスさんとメアリーさんは一緒にテレビを見ています。メアリーさんがテレビに写っている自分の好きなアイドルを、カルロスさんに紹介しています。画面にはアイドルが 3 人写っていますが、カルロスさんは、メアリーさんが好きなアイドルを知らないので、メアリーさんは好きな人の服装を伝えて、その人物が特定できるように説明しています。

ここでの【チャレンジ】では、もう一度状況イラストを見て、メアリーさんがテレビに向 かって、指差しているところから見ましょう。教室でのやり取りをご紹介します。

T:(2枚目のコマイラストのメアリーさんの吹き出しを指さして)

L1: 木村ユウトはTシャツを…

T:着ます。(Tシャツの部分を指しながら) TシャツはどんなTシャツですか。

L2:木村ユウトは黒いTシャツを着ます。

T:いいですね。「着ます」だと、「今からTシャツを着ます」です。木村さんは?

L2:いいえ。

T:そうですね。「木村ユウトは黒いTシャツを着ます」じゃありません。これは「Tシャツを着ています」と言います

L1:木村ユウトは黒いTシャツを着ています

T:いいですね。じゃ、CDを聞いてください

(CDを聞いたあとで、板書する)

木村ユウトは黒いTシャツを着ている人です。

T:「人」は名詞ですね。名詞の前の動詞は何形ですか。

L:普通形。

T:「着ています」の普通形は何ですか。

L:着ている。

T: そうですね。ここは「着ている人です」です。

学習項目 Vています(装着動詞)

言ってみよう 別冊2

ここでは、一文を言う練習ですが、学習者に合わせて、①~⑩までの名詞を先に確認してから、文を言う練習に入っていくといいですね。装飾品の語彙を確認してから、動詞も何と言ったらいいか確認してから、文を言う練習をするといいと思います。

練習2では色も言えるように練習してください。実際に写真で色を見て、練習するといいです。



日本語では「着ます」「はきます」と、使われる名詞によって動詞が異なります。学習者の母語によっては、同じ動詞を使うこともあるので、紛らわしいようです。おおざっぱですが、腰から上の物には「着ます」、腰から下の物には「はきます」と言ってあげると、覚えやすいようです。

こんなふうに

アニメのキャラクターなどを使って、練習をしてみました。日本語であるキャラクターを紹介してもらい、聞いている人は、どのキャラクターが紹介されているかを当てるクイズです。

言ってみよう 本冊 2

練習の際には、テレビのイラストだけを黒板に貼って、テレビを見ている雰囲気を出す と、リアル感が増すと思います。

①~④の人を説明するときに、どのように説明するかをクラス全体で一緒に確認してから、ペア練習するといいと思います。

やってみよう

- 友達におすすめを聞かれて、それを紹介している会話です。1では、おすすめの理由の部分を書き取ります。どんな表現を使って、相手に紹介をしていたか(「サカイ電器はどうですか」)にも注目してもらいましょう。2では、パクさんがカルロスさんにおすすめの歌手を紹介しています。パクさんが今、流れている曲のことや、おすすめしている理由をどのように言っているか、確認しましょう。
- 自分のおすすめの場所、好きな有名人をクラスメイトに紹介します。紹介するとき、場所や有名人の写真を、予め準備してもらい、その写真を見せながら話すようにすると、いいと思います。

こんなふうに

クラスでおすすめの紹介をするとき、一人ずつ前に出て、紹介するのも一つの紹介ですが、ポスター発表のような形式で、自分が聞きたいところへ行って話を聞いてみるという方法もあります。

こんなふうに

おすすめを紹介するときに、こんな表現も使えるということを示すために、教師が書いた ものを読んでもらうのもいいですね。読んでからグループに分かれてそれぞれのおすす めを紹介してもらいました。

〈教師が書いた紹介〉

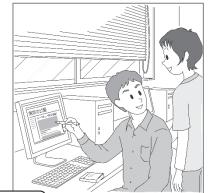


ST3 教えてください

できること:自分が知りたい情報を得るために、質問することができる。

チャレンジ!

状況イラスト:来月、友達とバーベキューをします。 ダニエルさんは今、インターネットで、バーベキューが できる公園を探しています。そこへパクさんが来ました。



1





コマイラスト:インターネットで情報を探しているダニエルさんにパクさんが話しかけています。ダニエルさんはパクさんにバーベキューをするのに、いい公園を知っているかどうか聞いています。パクさんは自分のおすすめの公園を紹介しています。

1コマ目のイラストにある、ダニエルさんの吹き出しの中には、バーベキューをしている イラストと公園の文字がありますが、【チャレンジ!】の際、「友達と一緒にバーベキューを する公園」だけで終わらないようにしてください。今、ダニエルさんがパソコンに向かって 何をしているのか、ということに、状況イラストを見る際に、学習者の注目を引き寄せるよ うにしてください。

学習項目は1コマ目に含まれていますが、【チャレンジ!】では、2コマ目も忘れずに学習者に再現してもらうようにしてください。ここでのゴールは、「自分が知りたい情報を得るために、人に質問することができる」ですから、2コマ目のやり取りも重要です。

学習項目 [名詞修飾] ~を/~へ…Vます

言ってみよう 別冊1

ST2の別冊 1と同様、名詞の説明をしていることに注目してもらいます。例えば、例の場合、「どんなお店を探していますか」と問いかけて、「お店」の前に説明を加えたらいいということを確認します。

言ってみよう

本冊 1

ここではBのキューがイラストで示されています。ペア練習の前に、全体で何と言ったらいいか、確認しておくといいと思います。イラストからいろいろ質問が考えられます。

例えば、例えば、③では、

T:何を探していますか。

L1:お菓子の…

T:みなさん、これは何ですか。

(材料が描かれているあたりを指しながら)

L2: 卵、バター、それは何ですか。

T: それは小麦粉です。パンや麺を作るときに使います。

L1: ああ。卵、バター、小麦粉、お菓子を作るとき使います。

L2:これはお菓子の…日本語で何ですか。

T:「材料」(板書しながら)です。

L3:お菓子の材料を買うことができる店を探しています。

T:いいですね。他には?

L1:お菓子の材料を売っている店を探しています。

ペアで練習する前にいろいろと質問例を出しておくと、ペア練習のときにもバリエーションが出て楽しそうに話しています。

チャレンジ!

状況イラスト:ダニエルさんは西川さんと話しています。 西川さんに店を教えてもらっています。



2





コマイラスト:ダニエルさんは、西川さんに来月、友達とバーベキューをするときに、材料を買うお店を聞いています。西川さんはダニエルさんに安く買えるお店を教えています。

自分が知りたい情報を得るために、少し詳しく相手に説明して質問することも必要です 1 コマ目のダニエルさんの 2 つ目の吹き出し、肉屋のイラストに描かれている肉の値段に 注目するようにしてください。 2 コマ目の西川さんが、おすすめの店を紹介するときに 「はなまるというお店」と言っています。 ST1で学習した「NというN」をここで使う チャンスです。

学習項目 [名詞修飾] は~

言ってみよう 別冊2

ここでの練習は、例、①、③、⑧などは、答えも学習者に言ってもらうといいですね。 授業では韓国に興味があるベトナムの学習者が、韓国料理を作りたいと言っていたことが あったので、教師から「○○さん、韓国料理を作りたいですね。材料はどこで買います か。知っていますか」と聞いてみました。その学習者の答えは「いいえ、知りません」だ ったので、「じゃ、○○さんに聞いてください」と促してみました。⑧の練習が学習者が 本当に聞きたいことを聞ける機会になりました。

言ってみよう 本冊2

例)に示されている「しりとり」を学習者が知らないことが多いです。ぜひ紹介して、やってみてください。これまで何回もやってみましたが、とても盛り上がります。学習者たちがたくさん語彙を覚えているなといつも感動します。

例、①、②の練習をしてから、学習者たちにも実際の「パーティーでよくするゲーム」「パーティーでよく歌う歌」「パーティーでよく作る料理」を紹介してもらいましょう。例では、韓国の飲み会でのゲームやユンノリという伝統的な遊びを、①では、ネパールの学生が「レッサンピリリ」という歌を、②では中国の学生が餃子やベトナムの学生が鍋料理を紹介してくれたことがありました。

やってみよう

1は飲み会をするお店、2はバーベキューをする公園について、話しています。1の会話では、パクさんがワンさんにお店探しを申し出るときに、どのように言っていたか、パクさんが紹介している店はどんな店か、などを聞いてみてください。2の会話では、アンナさんが、おすすめの公園をどのように紹介しているかを学習者に聞いてみてください。

■ ロールプレイをします。このロールプレイをするまえに、クラス全体で、何をするか

[飲み会・バーベキュー・お花見]を決めてからしたほうが、Aになった学習者もBに聞きやすいと思います。また、いきなり始めるのではなく、「クラスで飲み会をすることになったとき、自分がリーダーになったら、どんなことを知りたいと思うか」などをクラス全体で話してからするといいでしょう。Bが情報を知らない場合のために、お店や場所などの実際の情報をやさしくしたものがあると、いいと思います。

こんなふうに

ロールプレイをする際に、Bの情報として、下記のようなシートを作成してみました。



いまかぜこうえん **潮風公園**←

駅近!↩

鬜でも OK!↩

雨天時にタープを無料で借りることができます。← 景色がいい!←

BBQ広場から海やレインボーブリッジ、高層ビルが 見えます。

手ぶらでBBQ!↩

食材も器材も公園にあります。器材を借りることができますから、何も持って行かなくてもいいです。ゼアフターBBQ が楽しい!ゼ

近くにアクアシティお台場、フジテレビ、ヴィーナス フォート、パレットタウン、船の科学館など遊ぶとこ ろがいっぱいあります。バーベキューが終わってか ら、買い物を<u>したり</u>映画を見たりすることができま す。隣にあるお台場海浜公園を散歩することもでき ます。

場所 :お台場

行き方 :ゆりかもめ「台場」か「船の科学館」下車

徒歩5分←

レンタル :器材だけ 2,800円

食材+器材 2,000円~4,000円/1人

TEL :050-5835-0493 (予約センター) ↔

4 4



かきいりんかいこうえん **葛西臨海公園 バーベキュー広場**

送い!遊ぶところがたくさん!↩

バーベキュー広場がある葛西臨海公園には、水族館、 鳥類園、観覧車などがあって、1日中遊ぶことができま す。水族館で大きいマグロやかわいいペンギンなどを見 ることができます。観覧車からきれいな景色を見ること ができます。

タッ█਼ਿけがきれい!↩

41

場所 : 葛西

行き方 : JR京業線「葛西臨海公園」下車 -

徒歩7分€

地下鉄東西線「西島西」か「葛西」下車

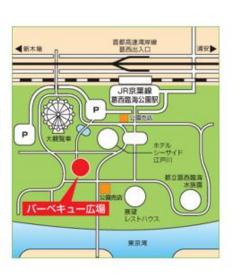
バス 15分↔

レンタル :器材だけ 2,800円←

食材+器材 2,000円~4,000円/1人

TEL :050-5835-0493 (予約センター) ←

ĘJ.









できる!

この課の行動目標は、「生活を楽しく便利にするために、身近な役立つ情報やおすすめ情報をやりとりすることができる」です。

ここに【できる!】の実践例をいくつかご紹介します。

- ・いろいろな人のおすすめを知るために、知りたい情報を得るためのアンケートを作成して 実施する。そして、発表してクラスメイトと情報を共有する。
- ・ビジターセッションを行い、ビジターからおすすめを聞いて、クラスメイトと情報を共有する。
- ・身近な役立つ情報を教職員にインタビューして、発表する。
- ・話読聞書と一緒に行い、それぞれの「おすすめ」を共有する。
- ・学習者一人ひとりの「私のおすすめ」をポスターセッションの形で発表する。 (原稿は話読聞書で書いたものが使える)。

話読聞書

「おすすめ」について話します。学習者がそれぞれ紹介したい「おすすめ」について話します。「皆さんのおすすめは何ですか」という問いを教室全体にすると、必ず、いろいろな答えが返ってくると思います。それがどんな物なのか、詳しく説明をしてもらいましょう。

これまで、「話読聞書」では、グループで話したあとに、書く活動を紹介してきました。この「私のおすすめ」でも、その流れで、各自のおすすめを話し、最後に学習者が書いた作品をまとめて、冊子にするということもできます。また、「ポスターセッション」の方法を利用し、各自が紹介したい「おすすめ」を簡単なポスターにまとめ、話を聞きたいポスターの前に行って、話を聞くということもできます。時間を決めて、話を聞いたあとは、場所を移動して、他の人の話を聞くという具合に、いろいろな人の話を聞いて、情報交換ができます。教師の「おすすめ」もぜひ紹介しましょう。

教科書に紹介されている「青春18きっぷ」の話は、日本で生活をしている留学生に知ってもらい、長期休暇の際などに利用してもらえたらいいなという気持ちで紹介しています。

こんなふうに

教師も「おすすめ」を紹介しました。

第 13 課↩

「私のおすすめ」↩

自分のおすすめを「ポスター発表」形式で紹介しました。



冊子にして みんなで読めるように 掲示しました。

